比企起業大学が、100年続くために・・・



比企起業大学が、100年続くために・・・

比企起業大学(旧比企起業塾)設立 2017年

↓ 100年後

比企起業大学「100周年記念祭」実施 2117年



比企起業大学が、100年続くために必要な「3要素」

• 本 (教科書)

•人 (学習者)

• 箱 (建造物)



比企起業大学が、100年続くために必要な「3要素」

• 本(教科書)

•人 (学習者)

• 箱 (建造物)



「本」

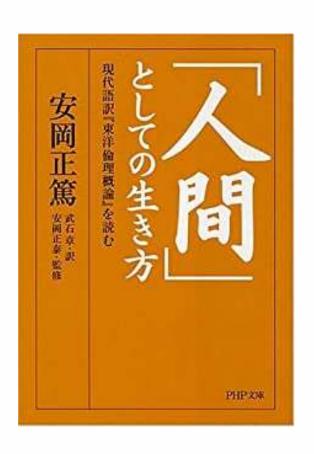


魚豊(2021) 『チ。地球の運動について』 第3集 小学館



100年後も読み継がれるであろう「本(教科書)」







初版 1916年

初版 1927年

初版 1946年



100年後も読み継がれる比企起業大学の「本(教科書)」を書ぐいます。



初版 2021年

初版 2030年?



比企起業大学が、100年続くために必要な「3要素」

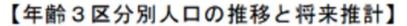
• 本 (教科書)

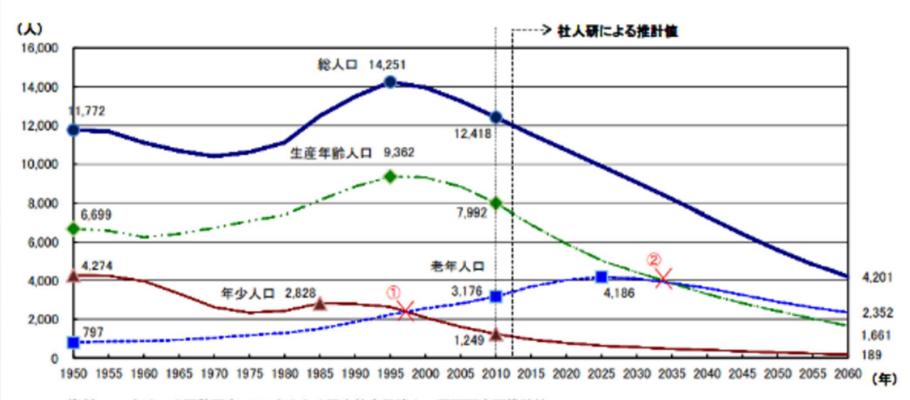
• 人(学習者)

• 箱 (建造物)



「人」は、減っていく・・・(ときがわ町の人口)





資料:2010年までは国勢調査、2015年からは国立社会保障人口問題研究所推計値



「人」は、減っていく・・・ (2024年から数えて)

2050年(26年後)

- -ときがわ町の人口 約5,000人
- •私:78歳 長女:47歳 次女:44歳 長男:41歳 次男:35歳

2100年(76年後)

- ときがわ町の人口 約2,000人?
- •私:墓の中 長女:97歳 次女:94歳 長男:91歳 次男:85歳

2117年(93年後) 比企起業大学 設立100年

- •ときがわ町の人口 約1,500人?
- ・私と子供たちは、墓の中。孫、ひ孫、玄孫の世代。



「人」にとって、比企起業大学が魅力的であれば・・・

例えば、「比企起業大学」という名前に、ブランド力がつけば・・・

- •名乗ると、なんかカッコいい!
- ■歴史的蓄積がある
- 誇り高い気持ちになる!
 - •••と、100年後の人たちに思ってもらえるかも。



比企起業大学が、100年続くために必要な「3要素」

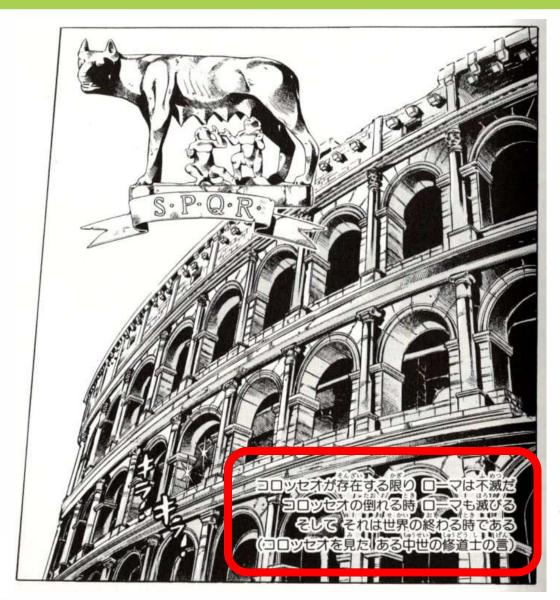
• 本 (教科書)

•人 (学習者)

• 箱 (建造物)



箱(建造物)

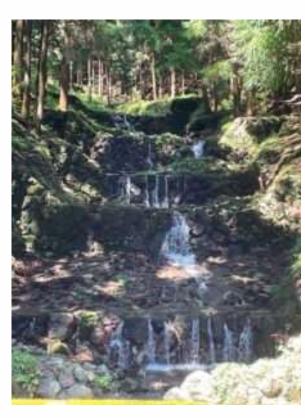


荒木飛呂彦(2005)『ジョジョの奇妙な冒険 Part5黄金の風9』 第38巻 集英社文庫(コミック版)



箱(建造物) ときがわ町で、100年以上残っているもの







七重の堰堤

玉川橋



箱(建造物)は・・・

- 木だと、腐る
- ・ 建て替えが必要
- 手間暇がかかる
- お金がかかる
- 人手が必要・・・

100年続ける際の大きなネックとなる



Q. 100年続くために、最も重要なことは何か?

力を借りられるかどうか



誰の…

●現在の仲間

●未来の方々





こういった方々の力を借りるために・・・

既に続いている仕組みを活かす



「既に続いている仕組み」として・・・

「学校」

「式年遷宮」

「おまつり」



「おまつり」

1. 継続するイベントとしての「おまつり」

2. 人間以外の力を借りるための「おまつり」



1. 継続するイベントとしての「おまつり」





1. 継続するイベントとしての「おまつり」

Q. コロナを経て、終わってしまったお祭りと復活したお祭りの違いは?



神様 仏様



五明地区の運動会

大野地区のささら獅子舞



「おまつり」

1. 継続するイベントとしての「おまつり」

2. 人間以外の力を借りるための「おまつり」



「丸太看板」を、「夫婦」に見立て、 道祖神のように「おまつり」し、

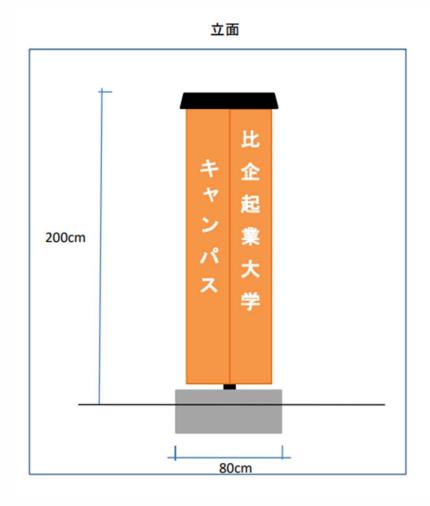
「夫婦和合・子孫繁栄・五穀豊穣・商売繁盛」 を祈願し、山伏さんに御祈祷してもらう。

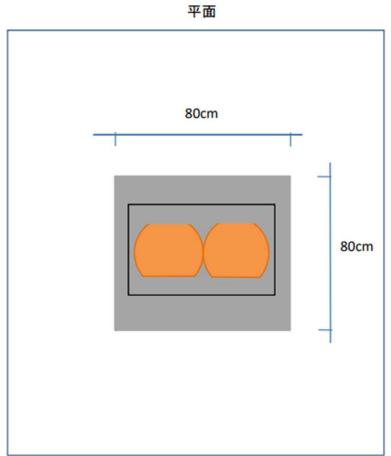


「丸太看板」を、「夫婦」に見立て、 道祖神のように「おまつり」し、

「夫婦和合・子孫繁栄・五穀豊穣・商売繁盛」 を祈願し、山伏さんに御祈祷してもらう。







直径30cm(樹齢60年程)のときがわのヒノキ2本



「道祖神」とは

- 道祖神(どうそじん、どうそしん)は、村境、<u>峠</u>などの路傍にあって 外来の<u>疫病や悪霊を防ぐ神</u>である。のちには縁結びの神、旅行安 全の神、子どもと親しい神とされ、男根形の自然石、石に文字や 像を刻んだものなどがある。
- 道祖神は、路傍の<u>神</u>である。集落の境や<u>村</u>の中心、村内と村外の境界や<u>道</u>の辻、三叉路などに主に<u>石碑や石像</u>の形態で祀られる神で、村の守り神、子孫繁栄、近世では旅や交通安全の神として信仰されている^[1]。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』



ときがわにおける「双体道祖神」



椚平の「経塚」



「丸太看板」を、「夫婦」に見立て、 道祖神のように「おまつり」し、

「夫婦和合・子孫繁栄・五穀豊穣・商売繁盛」 を祈願し、山伏さんに御祈祷してもらう。



山伏さん(瀧田さん@所沢)による御祈祷







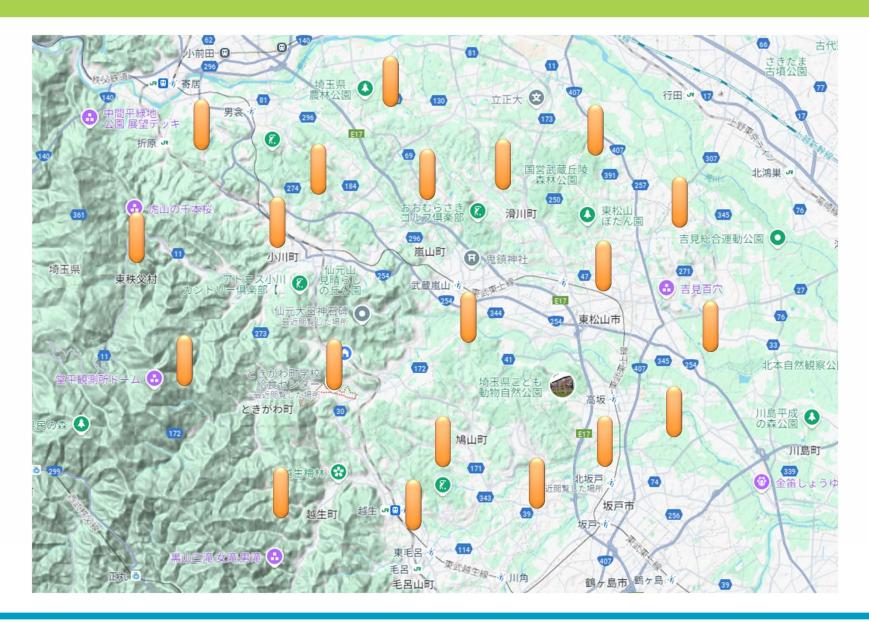


「丸太看板」を、「夫婦」に見立て、 道祖神のように「おまつり」し、

「夫婦和合・子孫繁栄・五穀豊穣・商売繁盛」 を祈願し、山伏さんに御祈祷してもらう。



比企ら辺を守る「丸太看板」 20本 (2045年)





まるキャン「未来地図」 10年後 (2035年)





「比企ら辺まるごとキャンパス化計画」の目的

1. 地域をキャンパスに見立てる (比企大の認知度アップ)

2. 木の地産地消のモデルとなる (ときがわ材の販促)

3. ゆるやかな結界をつくる (比企ら辺の守護)



Q. 100年続くために、最も重要なことは何か?

力を借りられるかどうか



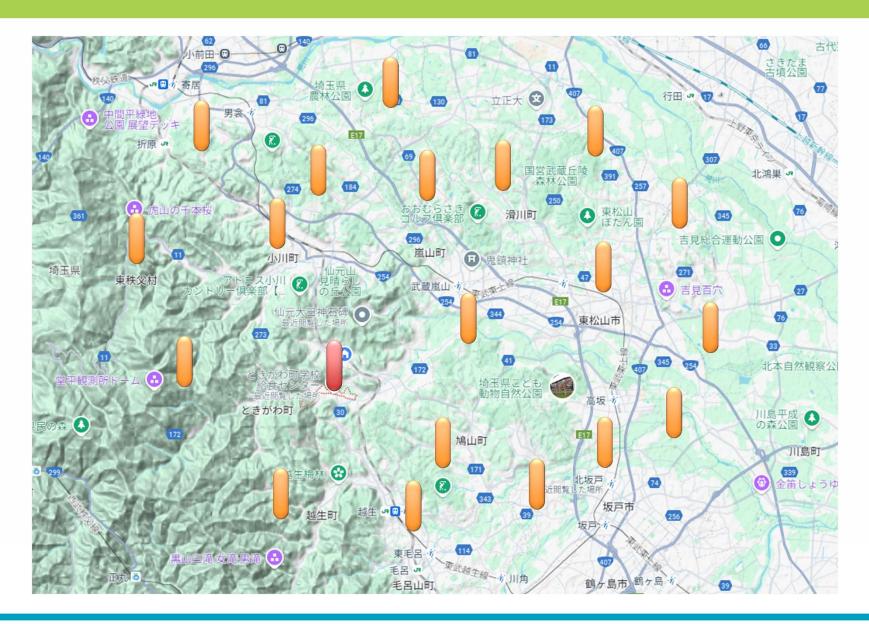
●現在の仲間

●未来の方々

●神様•仏様



比企ら辺を守る「丸太看板」 20本の最初の1本(2025年)





皆さんのお力をぜひ!貸してください。



比企起業大学の 応援団員を 募集しています

24年9月28日(土)まで



皆さんのお力をぜひ!貸してください。

現時点(24年9月26日)での応援団員数

- ●法人応援団員 10社
- ●個人応援団員 3人
- ●一般応援団員 22名



比企起業大学が、100年続くために・・・

